

## 子宮頸がん啓発企画「2023 LOVE49プロジェクト」キャンペーン

本活動は子宮頸がんを予防する日（子宮の日・4月9日）に因んだ子宮頸がん啓発キャンペーンです。  
女性の特に20～30才代へ子宮頸がん定期検診の必要性を伝えることを目的としています。

日時：令和5年4月8日（土）12：30～14：30

場所：長崎市浜町観光通りアーケード

主催：長崎県臨床細胞学会・長崎県細胞検査士会

共催：認定NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会

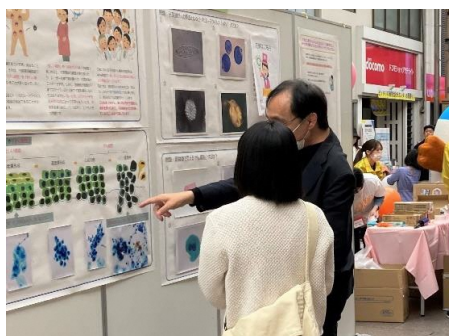
後援：厚生労働省・長崎県・公益財団法人長崎県健康事業団

協力：学校法人九州総合学院 九州医学技術専門学校

活動内容：子宮頸がん予防マガジン等の配布（約700部）

子宮頸がん予防・がん検診受診勧奨パネル展示、がん細胞画像展示、医師および細胞検査士による解説  
長崎県マスコットキャラクターがんばくん・らんばちゃんによる啓発活動

参加スタッフ数：長崎県臨床細胞学会・細胞検査士会 6名、長崎県健康事業団 4名、九州医学技術専門学校 9名



細胞検査士会第 23-228 号

2023 年 10 月 3 日

子宮の日（4 月 9 日）を中心とした子宮頸がん検診啓発活動  
（2024 Love49 プロジェクト）

趣意書

公益社団法人日本臨床細胞学会

細胞検査士会

会長 阿部 仁



わが国では若い女性の子宮頸がんが急増しており、また先進国で唯一子宮頸がんによる死亡数が増加しています。このことは欧米先進国に比較し極めて少ない検診受診率に起因しており、特に 20 代女性の検診受診率は 25%程度と低迷しています。また、妊娠前の若い女性の子宮を守ることは重要なことです。子宮頸がん検診を担当している細胞検査士として、2009 年より 4 月 9 日の子宮の日を中心に子宮頸がん検診受診啓発活動を始めました。来年度で 16 回目となりますが、ヒトパピローマ・ウイルス(HPV)感染が原因であることは、学校教育で教わらないため、若い人の周知率が低い状態が続いています。細胞検査士会では、来年度も『認定 NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会』と協力して、全国規模で子宮頸がん予防、検診受診啓発の街頭活動を行います。具体的には下記の内容を啓発するため資料の配付を計画しています。

- ・今、若い女性の子宮頸がんが急増しています。
- ・子宮頸がんの原因はヒトパピローマ・ウイルス(HPV)の持続感染です。
- ・HPV は 8 割の人が一生のうち一度は性行為で感染する、ごくありふれたウイルスで、9 割は自己免疫力で陰性化します。
- ・HPV ワクチンは接種していても検診受診は必要です。
- ・子宮頸がんは予防可能ながんで、検診を受診していれば前がん病変、ごく初期のがんの段階で発見されるため、子宮を残すことができ、こどもを産めなくなる悲劇を防げます。
- ・子宮頸がん検診は、子宮の入り口の細胞を軽く擦り取るだけの体に優しい安全な検査（細胞診）です。
- ・子宮頸がんは若い人もかかる病気です。性行為を経験したら子宮頸がん検診を。

以上、活動の趣意をご理解の上、御協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、この活動は例年厚生労働省の後援事業になります。